

▼カドサイラ点滴静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】トラスツズマブ エムタンシン trastuzumab emtansine (genetical recombination) 【分類】抗悪性腫瘍剤 [抗HER2抗体チューブリン重合阻害剤複合体]

【単位】 ▼100mg/V・▼160mg/V

【常用量】 1回3.6mg/kgを3週間間隔 ■心機能、肝機能および副作用グレードによる減量基準あり、添付文書参照

【用法】 点滴静注 [初回は90分かけて、その後は30分まで短縮可] ■添付の注射用水で溶解し、生食250mLに希釈

【透析患者への投与方法】 腎機能はCL/Fに影響しない (1)

【保存期 CKD患者への投与方法】 腎機能はCL/Fに影響しない (1)

【特徴】 抗HER2ヒト化モノクローナル抗体であるトラスツズマブに、チューブリン重合阻害作用を有するDM1 (メイタンシン誘導体) を安定性の高いチオエーテルリンカーを介して結合するよう設計させた製剤。抗体化DM1を腫瘍選択的に作用させることが可能となった。トラスツズマブ及びタキサン系抗悪性腫瘍剤による化学療法の治療歴のある患者のHER2陽性の手術不能又は再発乳癌に適用。

【主な副作用・毒性】 間質性肺炎、心障害、過敏症、infusion reaction、肝障害、血小板減少、末梢神経障害、頭痛、めまい、平衡障害、消化器症状、高血圧、鼻出血、発疹、皮膚炎、視力障害、高血糖、貧血、倦怠感など多数

【代謝】 イムノグロブリンの代謝過程で代謝されるか、DM1が分離してそれがCYP3A4および3A5で代謝 (1)

【排泄】 尿中回収率8.1% [ラット, iv] (1)

【CL】 10~13mL/day/kg [iv] (1) DM1はP-gpの基質 (1)

【t1/2】 2.4~3.7日 (1)

【蛋白結合率】 DM1 : 93.2% (1)

【Vd】 60mL/kg [iv] で血漿量に相当 (1) 脳内へは移行しない (1)

【MW】 151,000 [トラスツズマブ約148,000, エムタンシン958.53]

【透析性】 結合体は除去されないと思われる (5) 資料なし (1)

【OW係数】 該当しない (1)

【相互作用】 CYP3A阻害剤との併用注意 (1)

【更新日】 20170123

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。